

環 境 部

環境政策課

課長 伊佐治 修

事務事業評価票

事務事業名	地球温暖化防止事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地球温暖化防止事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H13 ~

深刻化する地球温暖化問題に対し、再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備等の導入を促すとともに、効率的な運用によりエネルギー使用量の削減を図るため、各種施策を展開するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 地球温暖化対策実行計画推進事業
地球温暖化対策実行計画(平成28年度改訂版)に基づき進行管理を行うとともに、エコネットまつもとの活動を支援
- 再生可能エネルギー地産地消推進事業
再生可能エネルギー地産地消推進計画に基づき進行管理を行うとともに、市内事業者への情報提供等支援
- 温暖化対策に資する補助金の交付
住宅用太陽光発電システムや蓄電池、省エネ設備の設置補助
- 松本市役所エコオフィスプラン進行管理
各課のCO2排出量や紙の使用量、環境の取組みを把握し、指導を実施
- 木質バイオマス熱利用推進事業
竜島温泉へのチップボイラーの導入及び燃料供給体制の構築を支援
- 市施設低炭素化推進事業
エネルギーを使用する市の全施設を対象とし、エネルギー削減のための調査検討を実施

<現状に対する認識>

- ・本庁舎、市立病院、博物館の建替えをはじめ、市施設の設備更新にあわせて低炭素化を積極的に進める必要がある。
- ・下水熱や地中熱など未利用熱の利用促進を図る必要がある。
- ・地球温暖化の取組みを広く周知・啓発する必要がある。
- ・信大が進める(仮)松本地域再生可能エネルギー導入支援ネットワークの立ち上げを支援する必要がある。

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	1910000
-----	-----	----	-------	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	411	低炭素社会の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
主な取組み			○新エネルギー戦略による経済と地域の活性化
5つの重点目標		4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			⑦再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	再生可能エネルギーによる最大出力(固定価格買取制度導入容量)(kW)				
指標の設定理由	再生可能エネルギーによる発電設備の市域全体の導入量がわかるため				
目標値	82,474	90,356	98,237	106,119	114,000
実績値	86,862	92,460	98,447		
達成度	105.3%	102.3%	100.2%		
② 成果指標(指標名)	再生可能エネルギーを活用して事業を興す事業者				
指標の設定理由	再エネ産業の育成が再生可能エネルギー地産地消推進計画の基本方針の中にあるため				
目標値	0	1	2	3	4
実績値	0	1	2		
達成度	-	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)	46,637	110,876	153,300	108,300		
国・県	1,501	9,942	44,570	26,920		
利用者負担金						
その他						
一般財源	45,136	100,934	108,730	81,380		
② 人件費(千円)	24,608	人工 22,770	人工 25,600	人工	人工	
正規	24,608	3.2	22,770	3	22,650	3
嘱託				2,950	1	
非常勤						
合計コスト①+②	71,245	133,646	178,900	108,300		
前年度比	-	187.6%	133.9%	-		

事務事業評価票

事務事業名	環境基本計画進行管理
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	一般事務費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

環境基本計画の実施状況を調査・審議する、有識者等による審議会を開催するとともに、進行管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 環境審議会
環境基本条例のもと、環境審議会において計画の実施状況を調査・審議(年間4回開催)
- 環境基本計画の進行管理
第3次松本市環境基本計画を推進するため、各部局が実施する事業の進行管理を行い、施策に反映
- 職員研修
環境行政を担う人材育成の一環として、環境省環境調査研修所が実施する研修会等に参加

<現状に対する認識>

・計画を効果的に進めるため、市民・事業者・行政が連携し積極的に取り組む必要がある。
・各部局が進める環境施策の具体的な事業内容を把握し、PDCAサイクルによる適切な進行管理を継続して行う。

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	411	低炭素社会の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	
主な取組み		
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	環境基本計画の指標61項目のうち、目標の70%以上達成している項目数				
指標の設定理由	環境基本計画の進捗状況を示すため				
目標値	48	48	48	48	48
実績値	49	55	54		
達成度	102.1%	114.6%	112.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	830		596		0		1,600			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	830		596		0		1,600			
② 人件費(千円)	6,152	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	6,152	0.8	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	6,982		4,391		3,775		1,600			
前年度比	—		62.9%		86.0%		—			

事務事業評価票

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H20 ~
--------	-------

廃棄物の適正な処理の促進及びごみ排出量の計画目標を達成するため、ごみ減量化施策を推進するとともに、一般廃棄物処理実施計画の策定及び基本計画の進行管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 一般廃棄物処理計画策定事業

(1) 基本計画策定
松本市一般廃棄物処理計画について、計画年度を迎えた際には次期計画を策定

(2) 実施計画策定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づき、毎年度、実情に応じた一般廃棄物の処理に関する事項を定める実施計画を策定

2 一般廃棄物処理計画の進行管理
松本市一般廃棄物処理計画を推進するため、各年度のごみ排出量を公表し、また、実施する事業の進行管理を行い、施策に反映

<現状に対する認識>

・年々ごみの総排出量は減少しているが、基本計画に掲げる目標を達成できていないため、更なるごみ減量化施策の推進が必要である。

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	1910000
-----	-----	----	-------	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	〇「もったいない」をキーワードに、ごみの減量	
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり	

<指標の達成状況>

		総合評価		B	
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	1人1日当たりのごみ排出量(単位:g/日)				
指標の設定理由	本事務事業は、ごみの減量を指向したものであるため。				
目標値	1,025	1,000	1,012	996	980
実績値	1,042	1,039	1,009		
達成度	98.98%	98.96%	99.00%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	6,413	6,997	7,781	6,836	
国・県	2,368	2,400	2,283		
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,045	4,597	5,498	6,836	
② 人件費(千円)	4,899	人工	12,722	人工	4,825
正規	4,614	0.6	12,144	1.6	4,530
嘱託	285	0.1	578	0.2	295
合計コスト①+②	11,312	19,719	12,606	6,836	
前年度比	—	174.3%	63.9%	—	

事務事業評価票

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H20 ~

松本市一般廃棄物処理計画の推進を図るため、「もったいない」をキーワードとして3R(リデュース・リユース・リサイクル)に係る事業を実施するもの。松本キッズ・リユースひろば事業については、ごみの減量化及び子育て支援を事業目的としている。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 松本キッズ・リユースひろば事業
 使用期間の短い子ども服や育児用品を市内26カ所の地域づくりセンター等で無料回収し、必要としている子育て世帯に無料で配付(配付会を年間6回開催、延べ1,715世帯が参加)

2 不用食器リサイクル事業
 市民との協働により、家庭で不用になった食器を回収し、状態の良いものは無料で配布(リユース)し、その他のものは新しい製品の原材料としてリサイクルを行う。市の役割として回収食器の運搬及び再資源化費の負担並びに事業のPR等を実施(食器の年間再資源化量 約16.2トン)

<現状に対する認識>

・キッズ・リユースひろば事業の安定的な継続を図るため、運営方法を検討する必要がある。

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	1910000
-----	-----	----	-------	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
主な取組み		○「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略		⑧成熟型社会の都市基盤づくり

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	キッズ・リユースひろば事業リユース品年間配付点数				
指標の設定理由	本事業は、ごみの減量に向けた取組みであるため。				
目標値	24,000	24,800	25,600	26,400	27,200
実績値	27,000	47,102	50,917		
達成度	112.5%	189.9%	198.9%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	6,413	6,997	7,781	6,836	
国・県	2,368	2,400	2,283		
利用者負担金					
その他					
一般財源	4,045	4,597	5,498	6,836	
② 人件費(千円)	4,899	人工	12,722	人工	4825
正規	4,614	0.6	12,144	1.6	4530
嘱託	285	0.1	578	0.2	295
合計コスト①+②	11,312	19,719	12,606	6,836	
前年度比	—	174.3%	63.9%	—	

事務事業評価票

事務事業名	環境基本計画推進事業
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H23 ~

環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、廃棄物の発生抑制などを推進するため食品ロス削減事業等に取り組むもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 食品ロス削減事業
 あらゆる世代で「もったいない」を心がけた食品ロスを減らす取組みを進めるため、残さず食べよう！30・10運動や残さず食べよう！推進店・事業所認定制度(認定数153店、90事業所)、フードドライブなどを実施
 平成31年度には、家庭での食品ロス削減の取組みの浸透を図るため、新たに「残さず食べよう！」推進店の認定対象に食料品小売店を加えたほか、食品ロス削減の日(10月30日)を含む10月最後の一週間を「おうちで食べきりキャンペーン」と位置づけ、小売店店頭でのポスター掲示等による集中的な啓発を実施した。

<現状に対する認識>

・世界的課題でもある食品ロスを削減するため、市民や事業者等と連携した取組みが必要
 ・家庭ごみの減量化を図るため、家庭版30・10運動の啓発を重点的に実施することが必要
 ・国等の協力を得ながら、松本から情報発信し浸透・拡大を図る。

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	1910000
-----	-----	----	-------	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
主な取組み			○「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
5つの重点目標	4	4	暮らしと生活の基盤づくり
松本版総合戦略			

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	残さず食べよう！推進店・事業所登録数				
指標の設定理由	食品ロス削減の取組みの市民への広がりを示す指標であるため				
目標値	100	150	175	270	300
実績値	111	177	246		
達成度	111.0%	118.0%	140.6%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	7,894	11,912	3,046	4,450	
国・県	1,429	160	145	160	
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,465	11,752	2,901	4,290	
② 人件費(千円)	8,459	人工	14,240	人工	14,180
正規	8,459	1.1	13,662	1.8	13,590
嘱託			578	0.2	590
合計コスト①+②	16,353	26,152	17,226	4,450	
前年度比	—	159.9%	65.9%	25.8%	

事務事業評価票

事務事業名	環境基本計画推進事業
-------	------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H27～
環境基本計画に定める持続可能な循環型社会の構築を目指して、環境に配慮した取組みを行っている事業者の推進を図るため、ecoオフィスまつもと認定事業に取り組むもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
第3次松本市環境基本計画に定める5つの柱において、事業者に望まれる取組みを推進するため、申請のあった事業所を環境に配慮した取組内容に応じて評価し、ecoオフィスとしてランク別に認定(新規認定事業所:2社、合計:21社)

＜現状に対する認識＞
*ecoオフィスまつもと認定事業では新規申請が伸び悩んでいることから、事業者が認定を取得したいと思える制度にしていくことが必要である。

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み		○「もったいない」をキーワードに、ごみの減量
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略		

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ecoオフィスまつもと新規認定事業所数				
指標の設定理由	環境に配慮した取組みを行っている事業所を示す指標の1つであるため				
目標値	5	5	5	5	5
実績値	7	4	2		
達成度	140.0%	80.0%	40.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 事業費(千円)		0	211	20	0		
	国・県						
	利用者負担金						
	その他						
	一般財源	0	211	20			
② 人件費(千円)	8,459	人工	14,240	人工	14,180	人工	
	正規	8,459	1.1	13,662	1.8	13,590	1.8
	嘱託		578	0.2	590	0.2	
合計コスト①+②	8,459	14,451	14,200				
前年度比	—	170.8%	98.3%				

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	1910000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	環境基本計画推進事業(環境教育)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	市長公約	主な取組み	
基本施策(個別目標)	413	環境教育の充実	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境基本計画推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の環境保全意識を高めるため、地域の環境資源を活用した自然観察会や学習会、小中学校での環境学習、園児や小学生を対象とした参加型環境教育などを実施するなど環境負荷軽減に向けた活動を拡大するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 参加型環境教育事業
園児と小学校3年生を対象に、ごみの分別や食べ残しをテーマにクイズ形式の参加型環境教育を実施(園実施数 53園、小学校実施数 30校)
- 食品ロス削減啓発用絵本の作成
参加型環境教育事業の効果を継続させるために、食品ロスをテーマとした絵本を原作公募により作成し、公共施設等に配布、設置するもの(原作公募応募数 78作品)
- エコスクール事業
幅広い世代が参加できるように、自然体験や環境保全をテーマとした環境講座を実施するもの(講座開催数 21回、参加人数 延べ410人)
- 小中学校環境教育支援事業
小中学校へ、環境分野の専門性を持つ企業・団体等が講師となる「環境学習プログラム」の紹介を行うもの(実施校数 17校、実施回数 31事業、参加人数 延べ1,447人)
- 子ども向け環境基本計画ハンドブックの配付
小学校4年生に環境基本計画を解説したハンドブックを配布し、授業等で活用を推進するもの

<現状に対する認識>

・感受性豊かな子どもへの環境教育は重要であり、従来の講座のプログラム内容を見直すとともに、新たに中高生向けのプログラムを開発する必要がある。
・自然に親しむ機会を作り、環境保全への意識を高めてもらうため、市民向けの出前講座のメニューを多様化するなど、興味関心を高める工夫が必要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	園児を対象とした参加型環境教育の園児の意識変化の割合				
指標の設定理由	本事業は、環境意識向上に向けた取組みであるため				
目標値	65	65	65	65	65
実績値	48.5	49.8	53.2		
達成度	74.6%	76.6%	81.8%		
② 成果指標(指標名)	エコスクール参加人数				
指標の設定理由	本事業は、幅広い世代対象の環境意識向上に向けた取組みであるため				
目標値	330	330	330	330	330
実績値	367	322	410		
達成度	111.2%	97.6%	124.2%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,353		2,643		4,688		0			
国・県	1,887				962					
利用者負担金										
その他										
一般財源	466		2,643		3,726					
② 人件費(千円)	12,761	人工	12,649	人工	12,635	人工		人工		人工
正規	10,766	1.4	10,626	1.4	10,570	1.4				
嘱託	1,995	0.7	2,023	0.7	2,065	0.7				
合計コスト①+②	15,114		15,292		17,323		0			
前年度比	—		101.2%		113.3%		—			

事務事業評価票

事務事業名	清掃業務管理(松塩地区広域施設組合負担金)
-------	-----------------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

一般廃棄物処理施設の維持管理と廃棄物の適正処理のため、松塩地区広域施設組合に分担金を支出するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本クリーンセンター、あずさセンター、余熱利用施設(ラーラ松本)等の管理・運営業務料として、負担金を支払う。

【30年度年間実績】

- ・松本クリーンセンターごみ搬入量(松本市分、可燃ごみのみ)
76,542.70トン
- ・あずさセンターし尿等投入量(松本市分)
9,205.0キロリットル
- ・ラーラ松本利用者数
403,200人

<現状に対する認識>

・ごみの減量化と生活排水の適正な管理を行うため、組合と連携して施策を進める。

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,011,556		946,154		1,063,790		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,011,556		946,154		1,063,790					
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	755	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	1,012,325		946,913		1,064,545		0			
前年度比	—		93.5%		112.4%		—			

事務事業評価票

事務事業名	災害廃棄物対策事業
-------	-----------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	

部局名	環境部	課名	環境政策課	課CD	19100000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます	
政策の方向(まちの姿)	2	災害を最小限に抑えるまち	市長公約	主な取組み	○震災や噴火などの災害に備えた国土強靱化		
基本施策(個別目標)	321	危機管理体制の強化	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H29 ～
<p>近年、地震や水害が多く発生しており、早急に現実的かつ着実な災害廃棄物対策を進めていくことが求められていることから、実効性の高い災害廃棄物処理計画を策定し、策定後は適宜点検、見直しを行う。また、平時から市民の方に災害時のごみ処理について理解してもらうため周知啓発を行う。</p>		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>1 災害廃棄物処理計画策定事業</p> <p>(1) 環境省中部地方環境事務所の「平成29年度中部ブロックにおける災害廃棄物処理計画作成モデル事業」により、災害廃棄物処理計画を策定する上での基礎調査を実施</p> <p>(2) 基礎調査の結果を基に、平成31年2月に松本市災害廃棄物処理計画を策定</p>

＜現状に対する認識＞
<p>策定した計画に基づき、仮置場の選定や発災後の初動マニュアルを整理しておく必要がある。また、災害廃棄物を適正かつ円滑に処理するためには市民の方の協力が必要不可欠であることから、災害時のごみ処理について記載した市民向けのパンフレットの作成や出前講座を実施し、周知啓発に努めたい。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本市で生活している中で感じる魅力・良さ「防災・減災対策」と回答した割合				
指標の設定理由	平時から災害廃棄物対策を意識してもらうことが重要であるため。				
目標値			2.7	3.7	4
実績値					
達成度			0.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)		0	0	5,070	1,170	
	国・県					
	利用者負担金					
	その他					
	一般財源			5,070	1,170	
② 人件費(千円)		0	人工	759	人工	6,040
	正規	0	759	0.1	6,040	0.8
	嘱託	0				
合計コスト①+②		0	759	11,110	1,170	
前年度比		—	—	—	—	

環境保全課

課長 中嶋 岳大

事務事業評価票

事務事業名	地下水対策事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地下水対策事業

<事業の狙い>

事業計画年度

S60~

地下水の保全の基礎資料にするため、地下水の水位を継続監視するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市所有の3カ所(清水、島立、今井)の観測井で地下水位を365日24時間連続測定
- 観測記録の集計整理
各井戸で測定した結果を集計、解析し、地下水保全対策の基礎資料とする。

<現状に対する認識>

・主に都市化を原因とする地下水のかん養量の減少により1990年代中頃まで地下水位の低下が続いたが、それ以降はほぼ横ばい
 ・地下水の保全に欠かせない常時観測であり、その結果を11市町村と県とで組織する「アルプス地域地下水保全対策協議会」で共有している。集計結果は流域全体にとっても健全な水循環を維持する施策の重要な基礎資料として役立っている。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	地下水位常時観測井戸数				
指標の設定理由	適切な観測場所を選定し、連続測定する必要があるため。				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	399		392		392		1,510			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	399		392		392		1,510			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	2,706		2,669		2,657		1,510			
前年度比	—		98.6%		99.6%		—			

事務事業評価票

事務事業名	家庭雑排水対策
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	家庭雑排水対策費

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

公共用水域の水質保全のため、家庭雑排水の適正処理を推進する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 合併処理浄化槽設置整備事業
公共下水道処理区域外地域を対象に、合併処理浄化槽の設置に対し補助金を交付するもの。公共下水道に接続する場合と比較して合併浄化槽を設置した世帯の負担が高くないように、国、県、市で補助するもの
- 合併処理浄化槽清掃事業
法令で定められた浄化槽清掃を行う者に対し、年1回に限り補助金を交付するもの。設置と同様に公共下水道接続施設の世帯と比較した場合の経済的負担を軽減するもの
- 家庭雑排水簡易浄化槽汚泥清掃事業
家庭雑排水収集・運搬許可業者に補助を行い、市民の収集・運搬料金負担を軽減するもの

<現状に対する認識>

家庭雑排水の適正処理をより推進するため、今後も事業を継続していく。

<指標の達成状況>

	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
① 成果指標(指標名)	水洗化率					
指標の設定理由	家庭雑排水適正処理の指標として					
目標値	98.1%	98.2%	98.5%	98.6%	98.7%	
実績値	98.7%	98.7%	98.7%			
達成度	100.6%	100.5%	100.2%			
② 成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	13,631		13,993		11,031		18,120			
国・県	4,720		5,629		3,430		7,660			
利用者負担金										
その他										
一般財源	8,911		8,364		7,601		10,460			
② 人件費(千円)	3,691	人工	3,643	人工	3,624	人工		人工		人工
正規	3,691	0.48	3,643	0.48	3,624	0.48				
嘱託										
合計コスト①+②	17,322		17,636		14,655		18,120			
前年度比	—		101.8%		83.1%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(長野県合併処理浄化槽普及促進協議会)
-------	------------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

合併処理浄化槽の設置を推進するため、行政機関で構成する団体の一員として合併処理浄化槽の普及・啓発活動を実施するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 合併処理浄化槽に関する知識の普及を目的とした研修会に出席するもの
- 長野県合併処理浄化槽普及促進協議会で作成した浄化槽整備事業に関する手引書を参考にするもの

<現状に対する認識>

・合併処理浄化槽の設置を推進するため、今後も活動を継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	水洗化率				
指標の設定理由	合併処理浄化槽設置により向上する、家庭雑排水の適正処理率を指標とした				
目標値	98.1%	98.2%	98.5%	98.6%	98.7%
実績値	98.7%	98.7%	98.7%		
達成度	100.6%	100.5%	100.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	41		41		10		50			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	41		41		10		50			
② 人件費(千円)	77	人工	76	人工	76	人工		人工		人工
正規	77	0.01	76	0.01	76	0.01				
嘱託										
合計コスト①+②	118		117		86		50			
前年度比	—		99.2%		73.1%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	畜犬登録事務
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	畜犬登録事務費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

狂犬病のまん延を防ぐことを目的とするもの。また、ペットの適正飼育についての啓発を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 狂犬病予防法に基づく畜犬の登録管理及び狂犬病予防注射を実施するもの。未登録犬や注射の未実施犬に対するの対応を行うもの
- 2 ペットの適正飼育について、指導及び啓発を行う。
- 3 災害発生時のペットの同行避難を啓発するもの

<現状に対する認識>

・犬の登録率の向上、狂犬病予防注射の接種率向上に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	狂犬病予防注射実施率				
指標の設定理由	犬の適正飼育の指標として				
目標値	90.0%	90.5%	91.0%	91.5%	92.0%
実績値	91.6%	90.5%	85.8%		
達成度	101.8%	100.0%	94.3%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,538		2,093		2,057		2,370			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,538		2,093		2,057		2,370			
② 人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7				
嘱託										
合計コスト①+②	7,921		7,406		7,342		2,370			
前年度比	—		93.5%		99.1%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域ねこ管理活動支援事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人によさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	地域ねこ管理活動支援事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

地域で抱える飼い主のいない猫に起因する問題の解決と、保健所における猫の引取頭数及び殺処分頭数の減少を目的とするもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 飼い主のいない猫の増加を防止し、市民の生活環境の保持及び動物愛護思想についての啓発を図るため、地域猫に去勢手術または不妊手術を受けさせるボランティア団体に対し、補助金を交付するもの
- 2 飼い主のいない猫の増加に伴うトラブルを減少させるため補助を交付するもの

<現状に対する認識>

・飼い主のいない猫に起因するご近所トラブルは、地域猫の指定地域外で発生している。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	まちなかにゴミが落ちていないなど衛生的である(市民満足度調査)				
指標の設定理由	まちの公衆衛生に対する指標のため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	2.95	—	2.94		
達成度	98.3%	—	98.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,820		1,820		1,820		1,820			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,820		1,820		1,820		1,820			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	4,127		4,097		4,085		1,820			
前年度比	—		99.3%		99.7%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	補助金(公衆浴場経営安定化事業)
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公衆浴場の経営の安定化を促進し、公衆衛生の向上に資するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 公衆浴場業を営む者で、経営の不安定な営業者の直接経営に要する経費に対し、補助を行うもの
- 2 営業日数を考慮した補助事業
平成30年度実績・・・9浴場について補助
- 3 基幹設備及びふれあい施設の設備改善に対して行う補助事業(県からも補助)
平成30年度実績・・・6浴場について補助

<現状に対する認識>

・公衆衛生の向上に資するため、経営が不安定な市内9浴場に対して、補助を継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,597		6,734		6,176		6,070			
国・県	2,306		1,353		1,751		1,700			
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,291		5,381		4,425		4,370			
② 人件費(千円)	2,307	人工	2,277	人工	2,265	人工		人工		人工
正規	2,307	0.3	2,277	0.3	2,265	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	11,904		9,011		8,441		6,070			
前年度比	—		75.7%		93.7%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	管理不全空き家等対策
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	管理不全空き家等対策費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

H26~

「松本市空き家等の適正管理に関する条例」及び「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、管理が不十分な空き家・空き地に対して、所有者等に適切な管理を促し、松本らしい安全で安心な魅力あるまちづくりを進めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 管理不全空き家等の適正管理助言・指導
隣の空き家の草木が繁茂して困っているなどの相談を受け、空き家の所有者を探し、所有者等に対し適正な管理を促すための助言・指導をするもの
(管理不全な空家に対する、市民からの相談対応件数 39件)
(そのうち、草木の刈取り等、空き家の管理不全が解決した数 12件)
- 所有者からの空き家の利活用、処分方法についての電話相談 (82件)

<現状に対する認識>

・空き家の所有者等に連絡が取れない、所有者が不明、相続人等の不在の案件が多く、対応に苦慮している。

・他部局との連携、あるいは各種団体、専門家との連携を図り、総合的な対策が必要と考える。(平成31年度前半に松本市空家対策計画が公表される予定)

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	管理不全な空き家の所有者等に助言・指導等を実施した件数				
指標の設定理由	空き家の適正管理指導の指標となるため。(目標値設定困難)				
目標値					
実績値	35	49	37		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	45		40		0		0			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	45		40		0		0			
② 人件費(千円)	8,844	人工	8,729	人工	8,683	人工	0	人工		人工
正規	8,844	1.15	8,729	1.15	8,683	1.15	0			
嘱託							0			
合計コスト①+②	8,889		8,769		8,683		0			
前年度比	—		98.6%		99.0%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	環境衛生指導
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生指導費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

身近な地域を流れる河川の美化・浄化を推進するため、市民との協働を進める。また、河川をきれいにする会の自主的活動の充実を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 年2回の「河川をきれいにする会」による18河川一斉清掃の支援。各河川の清掃や総会開催等の事務の補助をするもの
- 2 中心街を流れる女鳥羽川の清掃委託業務や堰清掃委託業務を行い、河川美化を行うもの
- 3 特定外来生物の周知及び駆除活動を行うもの

<現状に対する認識>

- ・ 身近な河川の美化・浄化活動を推進するため、支援を継続していく。
- ・ 高齢化に伴い参加者が減少しているなかで、若年層に対し、広報などで活動を広くPRし、参加を促していく。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	河川美化活動参加のべ人数				
指標の設定理由	河川美化・浄化活動の指標として				
目標値	29,000	30,000	31,000	32,000	32,300
実績値	28,920	24,723	25,981		
達成度	99.7%	82.4%	83.8%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,934		4,274		4,362		4,560			
国・県	0		0		0					
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,934		4,274		4,362		4,560			
② 人件費(千円)	5,383	人工	5,313	人工	5,285	人工		人工		人工
正規	5,383	0.7	5,313	0.7	5,285	0.7				
嘱託										
合計コスト①+②	10,317		9,587		9,647		4,560			
前年度比	—		92.9%		100.6%		—			

事務事業評価票

事務事業名	葬祭センター管理運営
-------	------------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	葬祭センター管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市営葬祭センターの効率的運営のため、導入している指定管理に関する事務及び施設の改修、更新工事を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 遺体の火葬
年間人体火葬件数 2,632件(死産児、胞衣を含む。)
- 動物(犬・猫等)の火葬
動物火葬件数 1,317件

<現状に対する認識>

- 市内の火葬需要には、ほぼ応えている。
- また、指定管理者制度を導入し、効率的な運営を行っている。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	130,853		139,167		118,400		115,260			
国・県										
利用者負担金	35,678		35,643		33,831		34,290			
その他										
一般財源	95,175		103,524		84,569		80,970			
② 人件費(千円)	1,154	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,154	0.15	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	132,007		140,685		119,910		115,260			
前年度比	—		106.6%		85.2%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	蟻ヶ崎西区公民館管理運営
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み	
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	蟻ヶ崎西区公民館管理運営費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市営葬祭センター所在の町会に対して無償貸付を行っている公民館施設の管理運営に関することを町会と協議しながら行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 消防施設点検 2回
- 2 トイレ洋式化 3ブース
- 3 市長との懇談会 1回
- 4 その他施設に関して不都合が生じた際に公民館に出向くこと随時

<現状に対する認識>

葬祭センター所在の町会から施設運営に関し協力を得るうえでは欠かせない施設である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	3,911		1,266		3,195		640			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	3,911		1,266		3,195		640			
② 人件費(千円)	1,154	人工	1,139	人工	1,133	人工		人工		人工
正規	1,154	0.15	1,139	0.15	1,133	0.15				
嘱託										
合計コスト①+②	5,065		2,405		4,328		640			
前年度比	—		47.5%		180.0%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	負担金(安曇野松筑広域環境施設組合)
-------	--------------------

<第10次基本計画の位置付け> <市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

2市4村で共同処理を行っている一部事務組合所管の広域豊科葬祭センターの管理運営に要する経費のうち松本市負担金の支出を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 会議等

- (1) 組合議会 2回開催
- (2) 理事者会 2回開催
- (3) 課長会議 2回開催

2 火葬実績

- (1) 人体火葬件数 193件
- (2) 動物火葬件数 291件

<現状に対する認識>

- ・ 松本市営葬祭センターを補完する施設として重要である。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	22,979		12,882		12,413		12,550			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	22,979		12,882		12,413		12,550			
② 人件費(千円)	1,923	人工	1,518	人工	1,888	人工		人工		人工
正規	1,923	0.25	1,518	0.2	1,888	0.25				
嘱託										
合計コスト①+②	24,902		14,400		14,301		12,550			
前年度比	—		57.8%		99.3%		—			

事務事業評価票

事務事業名	生物多様性保全事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	生物多様性保全事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28～

生きものの恵みを将来世代も受け取れるよう、松本市生物多様性地域戦略「生きものあふれる松本プラン」の基本方針である「学習し、広める」「想像し、考える」「実践し、活かす」に沿って生物多様性の保全を推進し、多様な環境に育まれた、生きものあふれる豊かな自然の維持と再生をめざすもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 啓発事業…自然と触れ合いながら生物多様性について学び、生物多様性の保全に対する関心を高めてもらうため、生物多様性地域戦略講座をエコスクール事業と共同で開催し、夏休みの時期を中心に、小中学生親子を対象に、事前学習会を含めて環境学習会、自然観察会を開催（7回 延べ126人参加）
- ゴマシジミ保護回復事業…国内希少野生動植物種に指定され、地元も保護活動に積極的な奈川地区のシンボルでもあるゴマシジミを保護するもの。
市民調査員による生息状況調査を行った(8～9月)
- 生物多様性モニタリング調査…生物多様性保全事業に関する指標とするため、地点を定めて継続的に生物調査を行うもの。平成30年度はアルプス公園でオオムラサキを中心としたチョウ類を調査
- 市民参加型環境調査…調査をとおして生き物に興味を持ってもらい、市民が生物多様性について考えるきっかけとなることをねらいとして実施するもの。
平成30年度は「市民ツバメ調査」(報告者42人)を実施

<現状に対する認識>

- 本市には、様々な生きものが共生して豊かな生態系が形成されてきたが、そうした「生物多様性」が、急速に失われつつある。
- 市民一人ひとりが生物多様性の重要性を認識し、豊かな自然を将来世代に引き継いでいくことが課題

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	19200000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	2	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	423	生物多様性保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
主な取組み	○	生物の多様性を考慮した自然環境の保全
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	生物多様性の保全活動への参加人数				
指標の設定理由	生物多様性保全の重要性を理解し、実践することにつながるため。				
目標値	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100
実績値	7,516	6,159	7,369		
達成度	123.2%	101.0%	120.8%		
② 成果指標(指標名)	希少種保護活動への支援箇所数				
指標の設定理由	支援することにより、希少種の保護回復が望めるため。				
目標値	1	1	1	1	1
実績値	1	1	1		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	98	1,062	994	1,020	
国・県		796	745		
利用者負担金					
その他					
一般財源	98	266	249	1,020	
② 人件費(千円)	4,614	人工	4,554	人工	人工
正規	4,614	0.6	4,554	0.6	
嘱託					
合計コスト①+②	4,712	5,616	5,524	1,020	
前年度比	—	119.2%	98.4%	—	

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	公衆便所管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公衆便所管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

公共福祉の増進を図るため、公衆便所を適正に管理する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 公衆便所管理事業
環境保全課が管理する公衆トイレを、清掃、点検を行い市民が利用しやすいように清潔に保つもの
- 2 公衆便所整備事業
環境保全課が管理する公衆トイレについて「安心」「快適」「親しみ」を基本方針に公衆便所を整備するもの。

<現状に対する認識>

・今後も既存の公衆トイレを利用しやすく維持管理を行っていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	まちなかにゴミが落ちていないなど衛生的である(市民満足度調査)				
指標の設定理由	まちの公衆衛生に対する指標のため				
目標値	3	3	3	3	3
実績値	2.95	—	2.94		
達成度	98.3%	—	98.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	19,190		14,430		14,293		14,980			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	19,190		14,430		14,293		14,980			
② 人件費(千円)	3,619	人工	3,649	人工	3,705	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	755	0.1				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	22,809		18,079		17,998		14,980			
前年度比	—		79.3%		99.6%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	し尿収集業務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	し尿収集業務費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

し尿汲取りを適正に行い快適な生活環境を支援するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 清掃確認券発行事業
清掃確認券を用いて、業者による適正なし尿汲取りを管理するもの
(汲取り場所、汲取り氏名が記入された回数券) 30年度 … 845件
- し尿汲取料金補助事業
生活保護世帯や障害者世帯など、生活困窮者に対し汲取料金を全額補助するもの
30年度 … 33世帯

<現状に対する認識>

・適正なし尿汲取りを行うため、今後も事業を継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和元2年度	
① 事業費(千円)	926		730		835		870			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	926		730		835		870			
② 人件費(千円)	154	人工	152	人工	151	人工		人工		人工
正規	154	0.02	152	0.02	151	0.02				
嘱託										
合計コスト①+②	1,080		882		986		870			
前年度比	—		81.7%		111.8%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	松本地区霊園管理
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	松本地区霊園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

中山霊園、蟻ヶ崎霊園及び並柳霊園の墓所管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

管理する墓所数		
中山霊園	一般墓所	9,094区画
	合葬式墳墓(屋内型)	1施設
	合葬式墳墓(屋外型樹木葬)	1施設
蟻ヶ崎霊園	一般墓所	2,445区画
並柳霊園	一般墓所	482区画

<現状に対する認識>

・ 指定管理者制度を導入し、効率的な運営を行っている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	一般墓所使用申請数				
指標の設定理由	霊園特別会計の最も基幹となる収入のため				
目標値	97	138	191	241	291
実績値	119	47	88		
達成度	122.7%	34.1%	46.1%		
② 成果指標(指標名)	合葬式墳墓使用申請数				
指標の設定理由	新たな墓地形態として注目を集めている墓所の収入のため				
目標値	570	627	684	741	800
実績値	678	901	1084		
達成度	118.9%	143.7%	158.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	39,696		39,696		47,070		46,750			
国・県										
利用者負担金	39,696		39,696		47,070		46,750			
その他										
一般財源										
② 人件費(千円)	4,383	人工	3,795	人工	3,775	人工		人工		人工
正規	4,383	0.57	3,795	0.5	3,775	0.5				
嘱託										
合計コスト①+②	44,079		43,491		50,845		46,750			
前年度比	—		98.7%		116.9%		—			

事務事業評価票

事務事業名	西部地区霊園管理
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	西部地区霊園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
合併地区(奈川、梓川、波田地区)霊園の墓所管理を行うもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

管理する墓所数

奈川地区			
奈川霊園	一般墓所	116区画	
梓川地区			
あずさがわ霊園	一般墓所	206区画	
上野霊園	一般墓所	125区画	
横沢霊園	一般墓所	13区画	
波田地区			
さみぞ霊園	一般墓所	173区画	
下原霊園	一般墓所	368区画	
つつじヶ丘霊園	一般墓所	393区画	

<現状に対する認識>

- 奈川霊園などの遠隔地の効率的な管理のため、指定管理者制度導入を検討している。

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

<指標の達成状況>

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)		一般墓所貸付件数				
指標の設定理由		霊園特別会計の最も基幹となる収入のため				
目標値		19	29	42	55	68
実績値		16	32	13		
達成度		84.2%	110.3%	31.0%		
② 成果指標(指標名)						
指標の設定理由						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)		2,078	2,143	2,580	2,530	
国・県						
利用者負担金		2,078	2,143	2,580	2,530	
その他						
一般財源						
② 人件費(千円)		769	759	755		
正規		769	759	755		
嘱託		0.1	0.1	0.1		
合計コスト①+②		2,847	2,902	3,335	2,530	
前年度比		—	101.9%	114.9%	—	

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	合葬式墳墓整備事業
-------	-----------

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	合葬式墓地整備事業費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

中山霊園に墓所の新たな形態となる合葬式墳墓を整備するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 屋内型埋蔵場所受入可能件数 個別埋蔵 400件 共同埋蔵 800件 計 1,200件 平成29年度に共同埋蔵場所を400件分増設
2 屋外型埋蔵場所受入可能件数 樹木式埋蔵 960件 平成29年度に新たに960件受入可能な墓所を整備

<現状に対する認識>

・ 需要を把握しながら、さらに増設の検討をする。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	屋内型合葬式埋蔵場所受入可能件数				
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため				
目標値	800	1,200	1200	1200	1200
実績値	800	1,200	1200		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	屋外型合葬式埋蔵場所受入可能件数				
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため				
目標値	0	960	960	960	960
実績値	0	960	960		
達成度	-	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	4,558		16,713		1,296		3,520			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	4,558		16,713		1,296		3,520			
② 人件費(千円)	3,076	人工	3,795	人工	755	人工		人工		人工
正規	3,076	0.4	3,795	0.5	755	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	7,634		20,508		2,051		3,520			
前年度比	-		268.6%		10.0%		-			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	墓地管理台帳整備事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	墓地管理台帳整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市営霊園10カ所の霊園の使用者情報を管理するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

市営霊園墓地管理台帳システムのリース料及び通信回線を毎月支出
令和元年度システム改修の予算編成、契約事務

<現状に対する認識>

・ 墓所使用者管理を適正に行うため、数年に一度のペースでシステム改修を行い、より管理しやすいデータベースを整備する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	760		760		745		8,340			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	760		760		745		8,340			
② 人件費(千円)	385	人工	380	人工	2416	人工		人工		人工
正規	385	0.05	380	0.05	2416	0.32				
嘱託										
合計コスト①+②	1,145		1,140		3,161		8,340			
前年度比	—		99.6%		277.4%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	不明墓所整理事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	不明墓所整理事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市営霊園10カ所の使用者が不明となった者の戸籍等の調査を行い、親族等承継者が判明した場合には、承継手続きをしてもらい、不明墓所になることを防止するもの
承継者がいない、不明等の場合には無縁墳墓と確定する手続を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 霊園使用者承継 388件
市営霊園の祭祀の承継の届出を受けた件数
- 無縁墳墓認定のための看板設置 7件
無縁墳墓に認定するために法で規定された手続をした件数
- 無縁墳墓認定 1件
上記2の結果、無縁墳墓に認定した墓所の件数

<現状に対する認識>

・ 不明墓所を生まないため、戸籍調査等に努めており、現状では最低限に抑えていると思われる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	霊園承継届提出件数				
指標の設定理由	不明墓所とならず新たな者に承継された墓所の指標となるため				
目標値					
実績値	337	326	388		
達成度					
② 成果指標(指標名)	無縁墳墓認定件数				
指標の設定理由	無縁墳墓となった墓所数が客観的にわかる指標のため				
目標値					
実績値	19	6	1		
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	38		37		55		220			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	38		37		55		220			
② 人件費(千円)	2,850	人工	2,890	人工	2,950	人工		人工		人工
正規										
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	2,888		2,927		3,005		220			
前年度比	—		101.4%		102.7%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	特定地域生活排水事業
-------	------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	地域排水施設
予算中事業名	特定地域生活排水事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

四賀地域の生活環境整備を図ること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 四賀戸別合併処理浄化槽維持管理及び清掃事業
浄化槽市町村整備事業(市町村が設置主体)により設置した戸別合併処理浄化槽の維持管理等を行う。
- 特別会計であるため、事業の健全化に努める。
- 平成28年度に「松本市地域排水施設事業経営戦略」を策定し、中長期にわたり、経営の安定化を図った。5年後に見直し予定

<現状に対する認識>

・汚水を適正処理するため、今後も事業を継続していく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	維持管理回数				
指標の設定理由	維持管理回数の頻度を維持することにより、汚水処理を適正に行うため。				
目標値	4	4	4	4	4
実績値	4	4	4		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	55,830		55,790		55,925		58,020			
国・県										
利用者負担金	44,206		44,270		43,458		44,440			
その他										
一般財源	11,624		11,520		12,467		13,580			
② 人件費(千円)	3,691	人工	3,643	人工	3,624	人工		人工		人工
正規	3,691	0.48	3,643	0.48	3,624	0.48				
嘱託										
合計コスト①+②	59,521		59,433		59,549		58,020			
前年度比	—		99.9%		100.2%		97.4%			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	公害対策関係
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	公害対策関係費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、水質汚濁、大気汚染などの少ない、快適な生活環境の向上をめざすもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 市内の河川や湖沼などの水質の調査(36カ所)
- 市内の河川の水生生物を指標とした水質の調査(13カ所)
- 市内の地下水の水質を把握するための調査(23カ所)
- 水質汚濁防止法に基づく事業場への立入り
法に定められた事業場の排水が適正処理されているかどうかを確認し、必要な場合は改善指導等をするもの(立入り件数 103件)
- 中山地区産業廃棄物処理施設周辺環境調査
廃棄物処理施設周辺で、大気や地下水を定期的に監視(6カ所)
- ダイオキシン類調査
焼却炉を持つ事業場の周辺での大気中のダイオキシン類調査(3地区 10カ所)
- 道路沿線、長野道沿線での騒音調査(11カ所)
- 放射性物質濃度測定調査
市立小学校の校庭の土壌と、井戸水の放射性物質濃度を測定(28校、井戸5カ所)

<現状に対する認識>

・法令等に基づく事業場への立入調査などを行ってきたこともあり、良好な水・大気環境が保たれ、騒音などによる公害苦情件数も減少傾向にある。

・引き続き、この生活環境を維持していくことが課題

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市内河川33カ所におけるBOD2mg/L未満の箇所の割合(%)				
指標の設定理由	2mg/Lが一般的にきれいな水の目安であるため。				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	一般大気環境基準達成率(二酸化硫黄・二酸化窒素)(%)				
指標の設定理由	行政の目標として国が環境基準を設定しているため。				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100	100	100		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	15,771		14,392		14,858		15,320			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	15,771		14,392		14,858		15,320			
② 人件費(千円)	26,531	人工	26,186	人工	26,048	人工		人工		人工
正規	26,531	3.45	26,186	3.45	26,048	3.45				
嘱託										
合計コスト①+②	42,302		40,578		40,906		15,320			
前年度比	—		95.9%		100.8%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	事務管理(島内小公園管理)
-------	---------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	事務管理費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

環境改善事業で整備した公園であり、周辺住民の憩いの場とするため管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

光熱水費、土地借上料の支出
遊具の点検

<現状に対する認識>

・立地上利用者が限られるが、地区にとっては必要な公園のため、適正な管理に努める。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	公園水道使用量				
指標の設定理由	利用者数の把握は困難であるため、トイレ、散水などに利用した水量から利用状況を推測できるため				
目標値					
実績値	4	30	34		
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	469		950		472		520			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	469		950		472		520			
② 人件費(千円)	154	人工	379.5	人工	377.5	人工		人工		人工
正規	154	0.02	379.5	0.05	377.5	0.05				
嘱託										
合計コスト①+②	623		1,330		850		520			
前年度比	—		213.5%		63.9%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	マレットゴルフ場整備事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	マレットゴルフ場整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

中山霊園に整備したマレットゴルフ場27コースの整備、管理を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

日常管理は、指定管理者が行っている。
 利用料金は無料であるため、利用者数の把握はできない。

<現状に対する認識>

・ 地元利用団体と連絡を密に取りながら管理を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	648		0		1,231		1,050			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	648		0		1,231		1,050			
② 人件費(千円)	385	人工	228	人工	227	人工		人工		人工
正規	385	0.05	228	0.03	227	0.03				
嘱託										
合計コスト①+②	1,033		228		1,458		1,050			
前年度比	—		22.1%		640.1%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	中山霊園第3次造成事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	中山霊園第3次造成事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

新たに墓所区画を必要とする方のために、平成13年度から着手した第3次造成地に2,178区画の墓所を整備し貸付けするもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

第3次造成地に2,178区画の墓所造成をする計画であり、現在は1,075区画を造成済み。

<現状に対する認識>

・一般墓所区画に対する需要を把握しながら造成を継続する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	中山霊園一般墓所区画数				
指標の設定理由	事業費予算であるので、施設整備件数が指標となるため				
目標値	9,043	9,103	9,163	9,223	9,283
実績値	9,043	9,043	9,094		
達成度	100.0%	99.3%	99.2%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	130		0		8,856		8,490			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	130				8,856		8,490			
② 人件費(千円)	769	人工	607	人工	1,133	人工		人工		人工
正規	769	0.1	607	0.08	1,133	0.15				
嘱託										
合計コスト①+②	899		607		9,989		8,490			
前年度比	—		67.5%		1645.0%		85.0%			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境保全課	課CD	1920000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	墓所補修整備事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標	
—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	霊園
予算中事業名	墓所補修整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市営墓地10カ所の補修が必要な箇所について、補修を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

管理する墓所数		
松本地区		
中山霊園	一般墓所	9,094区画
	合葬式墳墓(屋内型)	1施設
	合葬式墳墓(屋外型樹木葬)	1施設
蟻ヶ崎霊園	一般墓所	2,445区画
並柳霊園	一般墓所	482区画
奈川地区		
奈川霊園	一般墓所	116区画
梓川地区		
あずさがわ霊園	一般墓所	206区画
上野霊園	一般墓所	125区画
横沢霊園	一般墓所	13区画
波田地区		
さみぞ霊園	一般墓所	173区画
下原霊園	一般墓所	368区画
つつじヶ丘霊園	一般墓所	393区画
上記区画の他、駐車場等附帯設備も含めた施設全般の管理		

<現状に対する認識>

・ 補修必要箇所を適正に把握するため、指定管理者(松本地区)、管理業務委託業者(西部地区)との密な情報交換を行う。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,497		1,242		3,294		4,620			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,497		1,242		3,294		4,620			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	1,133	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	1,133	0.15				
嘱託										
合計コスト①+②	2,266		2,001		4,427		4,620			
前年度比	—		88.3%		221.2%		—			

環境業務課

課長 百瀬 今朝和

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	1930000
-----	-----	----	-------	-----	---------

事務事業名	環境衛生指導
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境衛生指導費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の快適な生活環境を維持するため、市民の環境美化意識の高揚を図り、環境の美化に努めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

「松本市ポイ捨て防止等及び環境美化に関する条例」や環境衛生協議会を通じて、ポイ捨て防止活動や環境美化活動を推進する。
不法投棄を防止するため看板及びフェンスの設置を行うとともに、不法投棄パトロール及び不法投棄物の回収を行う。

- 平成30年度環境美化巡視委員数 488名
- 啓発運動
 - ごみゼロ運動（開催日:5月27日、参加者:456名）
 - 散乱空き缶等追放キャンペーン（開催日:10月27日、参加者:329名）
 - 啓発運動でのごみ処理量 190kg
- 不法投棄パトロール数 260回
- 不法投棄回収量 10t

<現状に対する認識>

- 市街地のごみの散乱は少なく、良い評価を得ている。
- 不法投棄の処理量は横ばいとなっており、特に河川敷等のポイ捨てが目立つ。
- 不法投棄パトロールの実施と、町会と連携し「不法投棄防止フェンス」や「不法投棄禁止看板」の設置を行い、対応を行う。

総合評価

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	58,658		53,345		53,313		54,710			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	58,658		53,345		53,313		54,710			
② 人件費(千円)	88,784	人工	91,871	人工	87,665	人工		人工		人工
正規	77,669	10.1	83,490	11	78,520	10.4				
嘱託	11,115	3.9	8,381	2.9	9,145	3.1				
合計コスト①+②	147,442		145,216		140,978		54,710			
前年度比	—		98.5%		97.1%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	清掃業務管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	清掃業務管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

循環型社会の構築を目指し、ごみを5分別25区分に分別し資源化を推進しているため、市民がごみ・資源物を適正に排出できるよう、周知・啓発を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

ごみ・資源物が適正に排出されるよう、市民へ「ごみ・資源物の分け方・出し方」及び「ごみ・資源物の収集日程表」を配布するとともに、ごみ分別アプリ「さんあ～る」の配信を行い、周知・啓発を行う。

1 「ごみ・資源物の分け方・出し方」及び「ごみ・資源物の収集日程表」

- (1) 収集地区
市内35地区を46地区に分けて収集を実施
- (2) 分別区分
5分別25区分
- (3) 印刷部数
ア ごみ・資源物の分け方・出し方: 116, 000枚
イ ごみ・資源物の収集日程表: 117, 000枚

2 ごみ分別アプリ「さんあ～る」の配信

- (1) 登録件数 7, 779件(平成31年3月末現在)
- (2) 対応する外国語 英語、中国語、韓国語、フィリピン語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語

<現状に対する認識>

・「ごみ・資源物の収集日程表」及び「ごみの分け方・出し方」は町会へ加入している市民には町会を通して配布されるが、町会に加入していない市民や外国人の方のように情報を提供するかが課題となっている。

・平成29年7月からごみ分別アプリを導入し、ごみ分別等の情報を配信している。

・アプリは7カ国語に対応しているため、課題となっている外国人の方への周知に活用するとともに、ごみ処理に関する様々な情報を積極的に配信し、ごみの減量・適正処理につなげていく。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ごみの総排出量(t)				
指標の設定理由	ごみの分別をすることにより排出量が抑えられるため				
目標値	89,315	86,829	88,277	86,677	84,618
実績値	91,793	89,793	88,318		
達成度	102.8%	103.4%	100.0%		
② 成果指標(指標名)	1人1日当たりのごみ排出量(g)				
指標の設定理由	ごみの分別をすることにより排出量が抑えられるため				
目標値	1,025	1,000	1,012	996	980
実績値	1,042	1,039	1,009		
達成度	101.7%	103.9%	99.7%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	9,569		5,116		4,896		4,870			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	9,569		5,116		4,896		4,870			
② 人件費(千円)	23,613	人工	23,383	人工	22,745	人工		人工		人工
正規	20,763	2.7	20,493	2.7	20,385	2.7				
嘱託	2,850	1	2,890	1	2,360	0.8				
合計コスト①+②	33,182		28,499		27,641		4,870			
前年度比	—		85.9%		97.0%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	塵芥収集業務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥収集業務

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の快適な生活環境を維持するため、一般廃棄物(家庭系ごみ)の収集を行うとともに、町会で管理するごみステーションの建設に対して補助を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 可燃・不燃ごみ等の収集運搬
(1) 収集業務割合 委託:92%、直営:8%
(2) 収集対象
ア 可燃ごみ
イ 容器包装プラスチック
ウ 不燃ごみ(破碎・埋立ごみ)
エ 蛍光管・乾電池
オ 小型家電
カ スプレー缶・ライター
(3) 区分別に収集するごみステーション数
ア 可燃ごみ 2,589カ所
イ 容器包装プラスチック 1,786カ所
ウ 不燃ごみ(破碎・埋立ごみ) 1,773カ所
エ 資源物 1,162カ所
2 ごみステーション建設費補助 補助件数 16件、補助金額 2,146千円

<現状に対する認識>

・家庭系ごみの排出量は年々減少している。
・引き続きごみの排出環境の整備・適正処理に努めるとともに、ごみの減量に係る施策をあわせて実施する。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	家庭系ごみ収集量(t)				
指標の設定理由	市が収集する家庭形ごみ量が把握できるため				
目標値	33,583	32,561	38,977	38,704	38,222
実績値	39,709	39,122	38,364		
達成度	118.2%	120.1%	98.4%		
② 成果指標(指標名)	1人1日当たりの家庭家ごみ排出量(g)				
指標の設定理由	他の自治体の状況と比較が容易であるため				
目標値	385	375	447	445	443
実績値	458	453	439		
達成度	119.0%	120.8%	98.2%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	328,881	325,575	321,251	329,680	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	328,881	325,575	321,251	329,680	
② 人件費(千円)	113,871	人工 117,175	人工 97,940	人工	人工
正規	110,736	14.4	116,886	15.4	89,090
嘱託	3,135	1.1	289	0.1	8,850
					3.0
合計コスト①+②	442,752	442,750	419,191	329,680	
前年度比	—	100.0%	94.7%	—	

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ごみ減量対策事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ減量対策事業

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

松本市一般廃棄物処理計画に基づき、ごみの排出実態を的確に把握し、廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化及び適正処理の推進を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 家庭系・事業系可燃ごみの組成及び食品ロス調査の実施
- 事業系ごみの減量の推進
 - ごみ収集業務のあり方検討会議の開催(会議開催回数:2回)
 - 事業系ごみの分け方・出し方の配布(配布部数:360件)
- 資源物の収集運搬に係る事務

品目:金属類、紙類、布類、びん類、ペットボトル、小型家電、廃食用油
- 資源物の排出環境の整備
 - 松本市リサイクルセンターの運営
 - 紙類常設回収場所の設置(32カ所)
 - 資源物集団回収実施団体への助成(回収量:1,728トン)
 - 有価資源物リサイクル事業を実施した町会への助成(回収量:4,363トン)
- 生ごみ等の再資源化の推進
 - ごみ減量機器購入補助(106件)
 - 生ごみ堆肥化講習会の開催(6回)
- 生ごみの水切り袋の作成・配布

ママフェス、学都フォーラム、消費生活展にて配布(配布枚数:500枚)

<現状に対する認識>

・平成30年度は、総ごみ量は前年に比べ、可燃ごみ及び資源物の減少により1.6%減少した。
 ・民間事業者による資源物回収ボックスの設置により、市として回収する資源物量が減少し、リサイクル率が低下している。
 ・市が行う資源物のステーション回収を安定的に実施するためには町会の協力が不可欠であるが、今後も協力を得るためには町会への助成に直結する町会ステーション回収量を維持する必要がある。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	ごみの総排出量(t)				
指標の設定理由	ごみの減量を目的とした事業であるため				
目標値	89,315	86,829	88,277	86,777	84,618
実績値	91,793	89,793	88,629		
達成度	102.8%	103.4%	100.4%		
② 成果指標(指標名)	リサイクル率(%)				
指標の設定理由	資源物の収集量の指標となるもの				
目標値	26.5	28.2	12.0	12.0	12.0
実績値	11.9	11.2	10.5		
達成度	44.9%	39.7%	87.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	183,882		180,624		180,037		195,790			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	183,882		180,624		180,037		195,790			
② 人件費(千円)	26,888	人工	25,841	人工	37,385	人工		人工		人工
正規	24,608	3.2	23,529	3.1	34,730	4.6				
嘱託	2,280	0.8	2,312	0.8	2,655	0.9				
合計コスト①+②	210,770		206,465		217,422		195,790			
前年度比	—		98.0%		105.3%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ごみ処理関連施設周辺整備対策事業
-------	------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち	主な取組み	○「もったいない」をキーワードに、ごみの減量	
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ごみ処理関連施設周辺整備対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

ごみ処理関連施設(エコトピア山田、松本クリーンセンター)周辺の環境整備を行うとともに、事業に関連するその他の市施設の保守点検・改修等の維持管理を行う。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

平成30年度事業内容

- 1 施設整備事業
 - (1) エコトピア山田周辺環境整備
 - ア 山田地区側溝改修
 - イ 山田地区内舗装補修
- 2 周辺環境整備支援事業
- 3 公民館等維持管理
 - (1) 平瀬川西公民館調理室及び屋根改修工事

<現状に対する認識>

・ごみ関連施設は見学や視察が多いため、イメージアップとなるよう、周辺の環境整備が求められている。
 ・市が建設した公民館が経年により修繕が必要となっているため、計画的に修繕を実施する。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	0		38,511		6,145		9,260			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	0		38,511		6,145		9,260			
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	11,915	人工		人工		人工
正規	7,690	1.0	7,590	1.0	11,325	1.5				
嘱託					590	0.2				
合計コスト①+②	7,690		46,101		18,060		9,260			
前年度比	—		599.5%		39.2%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	塵芥埋立処理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	塵芥埋立処理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取り組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

一般廃棄物最終処分場の適正な管理運営を行い、安定的な廃棄物の処理を行うとともに、周辺環境負荷の軽減を図る。また、最終処分場の延命化を図るため、焼却灰と飛灰の資源化及び市外の最終処分場へ処分を委託するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 最終処分場管理運営事業
 - 埋立作業
 - 施設維持管理業務
 - 水質検査等環境調査
- エコトピア山田延命化事業
 - 構想案基礎調査事業
 - 庁内における検討
 - 再整備方針の決定
- 灰資源化・処分事業

松本クリーンセンターから排出される焼却灰及び飛灰を資源化等により委託処理を行う。

 - 焼却灰
 - ア 資源化

1,579トン(人工砂化(埼玉県)、溶融金属回収(愛知県))
 - 飛灰
 - ア 資源化

642トン(人工砂化(埼玉県)、溶融金属回収(愛知県))
 - イ 委託埋立

2,573トン(三重県、秋田県)

<現状に対する認識>

・エコトピア山田の焼却灰埋立区画の残余年数が7年となっている。
 ・エコトピアあり方検討庁内委員会において協議を行い議会にて承認された再整備方針により、エコトピア山田の整備を進め、施設の延命を図る。
 ・再整備を行うにあたり、廃棄物をエコトピア山田へ搬入ができなくなる時期が生じるため、埋立物の全量を外部に委託して処理することとなる。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	灰資源化量(t)				
指標の設定理由	最終処分場の負荷軽減するための灰資源化の実績を示すため				
目標値	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900
実績値	1,950	2,047	2,221		
達成度	102.6%	107.7%	116.9%		
② 成果指標(指標名)	一般廃棄物処分場への灰埋立量(t)				
指標の設定理由	市内最終処分場への埋立て実績を示すため				
目標値	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750
実績値	5,869	5,704	5,337		
達成度	98.0%	100.8%	107.7%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	293,939		226,920		223,276		233,070			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	293,939		226,920		223,276		233,070			
② 人件費(千円)	29,566	人工	30,792	人工	32,490	人工		人工		人工
正規	26,146	3.4	27,324	3.6	27,180	3.6				
嘱託	3,420	1.2	3,468	1.2	5,310	1.8				
合計コスト①+②	323,505		257,712		255,766		233,070			
前年度比	—		79.7%		99.2%		—			

事務事業評価票

部局名	環境部	課名	環境業務課	課CD	19300000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	し尿処理業務
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	し尿処理業務費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち
政策の方向(まちの姿)	1	環境負荷軽減に取り組むまち
基本施策(個別目標)	412	3Rの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度

～

水洗化ができない地域にある市営施設等の環境を維持するため、し尿の収集運搬を行うもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

主に運動公園等の外便所や文化財発掘現場など、水洗化されていない市管理施設等のし尿収集を実施する。

1 汲取り実施箇所 12箇所

<現状に対する認識>

・水洗化できない市管理施設等に対応するため、バキューム車を保有し、継続していくことが望ましい。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	38		38		33		60			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	38		38		33		60			
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,510	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,510	0.2				
嘱託										
合計コスト①+②	1,576		1,556		1,543		60			
前年度比	—		98.7%		99.2%		—			